

平成21年度新規着工

# 浅川港海岸「徳島県海陽町」

海岸保全施設整備事業  
(高潮対策)



浅川港海岸は、徳島県南部に位置し、地形的に三方を山で囲まれた典型的なV型港湾であるため、過去幾度も津波による災害に見舞われており、昭和21年発生 of 南海地震時には死者85名、家屋の全壊及び流出322戸の甚大な被害を被っています。

当海岸はこれまで、過去の昭和南海地震に対応できるよう整備が進められてきたところですが、徳島県防災計画では想定地震を、今後30年以内に50～60%の確率で発生すると予測されてい

るより規模の大きな東南海・南海地震に見直し、県は平成21年度から新たに浅川地区の海岸保全施設の整備に取りかかっています。

具体的には、津波による市街地への浸水被害の発生を抑制するため、護岸の改良工事などを行います。人命はもちろん、暮らしやまちの生活基盤を守るために海岸保全施設は重要な役割を担っています。

写真の沖(奥側)に見えるのは、平成18年度に完成した津波対策のための湾口防波堤です。

現在は、写真手前側の陸域の胸壁(改良)などの整備を進めています。

## 整備概要

- 整備内容 胸壁(改良)  
護岸(改良) 約1700m
- 整備期間 平成21年度～平成25年度

## 整備効果

- 東南海・南海地震発生時の、津波による被害軽減を図るため、第1波の津波高さに対応した施設整備を行い、住民の避難時間を確保します。  
(津波シミュレーションによると、浅川地区では地震発生から約1時間後に来襲する第3波が最大の波高となるようです。)